

KAWATA IR Report

第73期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社 **カワタ**
証券コード 6292

▶ TOP MESSAGE

現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献します。

代表取締役社長 白石 亙

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社の第73期中間報告書をお届けいたします。足元は厳しい経営環境ですが、成長戦略の実行と企業体質の改善に取り組み、中長期的な株主価値向上に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年12月6日



当中間期における業績について

世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、ワクチン接種の普及に伴う行動制限の緩和等により景気回復の進展が見られた先進国と、ワクチン接種の普及遅れや医療逼迫等により景気回復に遅れが生じている新興国等との間で二極化が進みました。

わが国経済も、新型コロナウイルスの感染再拡大により、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の実施が続くなど、先行き不透明な状態が続きました。一方、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2020年10月～12月は10,703億円（前年同期比0.8%増）、2021年1月～3月は10,472億円（同0.8%増）、4月～6月は11,736億円（同26.5%増）、7月は4,310億円、8月は3,731億円と徐々に回復基調にあります。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、受注高は前中間期を底として増加に転じ、当中間期は前年同期比33億2千1百万円増（同44.4%増）の108億1千万円となり、受注残高につきましても前年同期比22億7千1百万円増（同46.1%増）の71億9千7百万円となりました。一方、当年度の受注高は着実に増加しているものの、前年度末の受注残高が少なかったこと等により、売上高につきましても、前年同期比2億4千4百万円減（同2.8%減）の84億5千万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減等に努めたことなどにより売上総利益率は改善（26.3%→28.2%）しましたが、営業利益は前年同期比9百万円減（同3.3%減）の2億8千9百万円、経常利益は為替差益2千3百万円（前年同期は3千1百万円の為替差損）の計上

等により前年同期比3千2百万円増（同11.7%増）の3億1千4百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券評価損1千万円、子会社清算損4百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税6千1百万円、法人税等調整額7千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2千7百万円増（同20.8%増）の1億5千9百万円となりました。

今後の見通しについて

世界経済は、新型コロナウイルスについては感染者数が減少傾向にあり、行動制限が緩和されつつありますが、中国における不動産の債務問題及び電力不足等による景気の減速や世界的な半導体不足により先行き不透明感が継続しております。

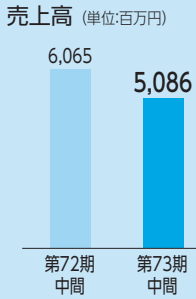
わが国経済は、新型コロナウイルスについてはワクチン接種の進展に伴い感染者数は減少傾向にあり、各種制限措置の緩和により、徐々に景気は持ち直していくものと見込まれます。また、製造業の設備投資は緩やかな回復基調にあり、プラスチック関連業界につきましても、需要は回復に向かうものと予想しておりますが、半導体不足の影響により製造業の減産や部品の供給不足が懸念されます。かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等の動きや、ウィズコロナ、アフターコロナの環境下、社会の変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応するとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上にも取り組み、年度計画の達成に注力してまいります。また、世界レベルでの環境問題（CO₂削減、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を推進いたします。

▶ 地域別の概況

日本

売上高 5,086百万円 / 経常利益 309百万円

売上構成比 56.4%

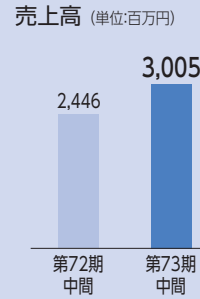


新型コロナウイルスの感染再拡大により度重なる緊急事態宣言の発出等がありましたが、日用雑貨や容器・物流関連の受注は引き続き堅調に推移しました。一方、自動車関連については前年度末の受注残高が少なかったことから前年同期比マイナスの結果となりました。

東アジア

売上高 3,005百万円 / 経常利益 21百万円

売上構成比 33.3%

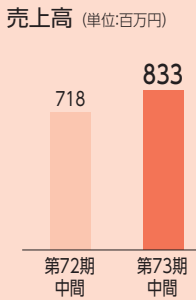


米中貿易摩擦は依然として改善されないものの、新型コロナウイルスの感染者数を抑制している中国では景気回復は堅調に推移しており、自動車関連を中心とした受注増により売上高は前年同期比プラスの結果となりました。

東南アジア

売上高 833百万円 / 経常利益 10百万円

売上構成比 9.2%

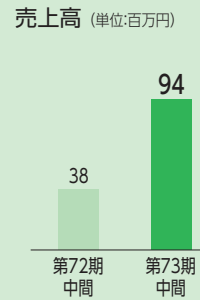


変異株の発生に伴う新型コロナウイルスの感染拡大等により景気回復に遅れが生じておりますが、一部地域では設備投資の持ち直しの動きが見られ、売上高は前年同期比プラスの結果となりました。

北中米

売上高 94百万円 / 経常損失 35百万円

売上構成比 1.1%



新型コロナウイルスの影響は緩和傾向であり、半導体不足の影響がありましたが、売上高は前年同期比プラスの結果となりました。

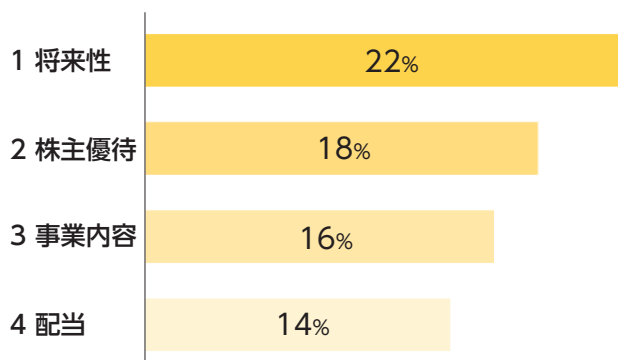
※各セグメントの数値は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

トピックス TOPICS

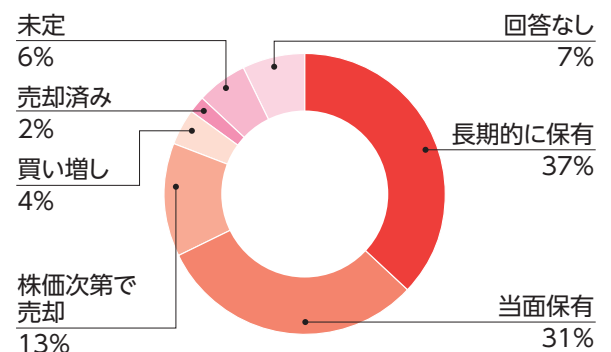
株主アンケート結果のご報告

2021年3月31日時点で当社株式500株以上を保有する株主のみなさまを対象に株主アンケートを実施し、852名の方々からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答のなかから一部をご報告いたします。

● 当社株式の購入理由 (上位4項目) 複数回答



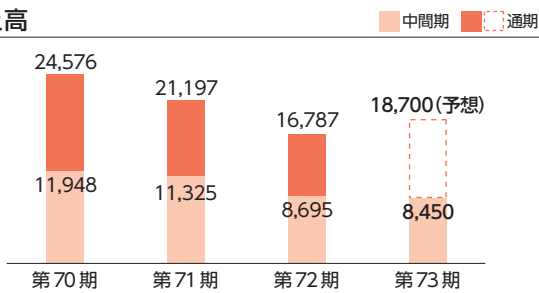
● 今後の方針



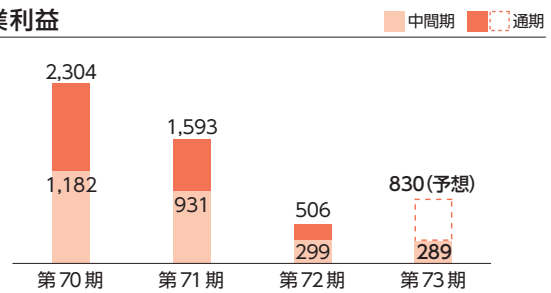
▶ 連結財務ハイライト

単位:百万円 / 1株当たり純利益のみ単位:円

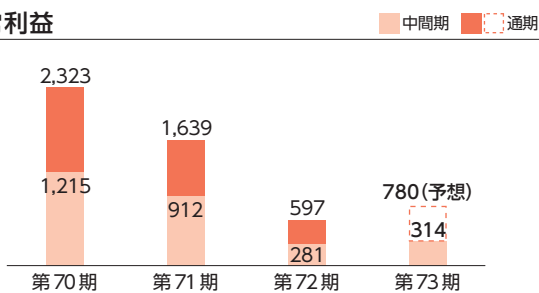
売上高



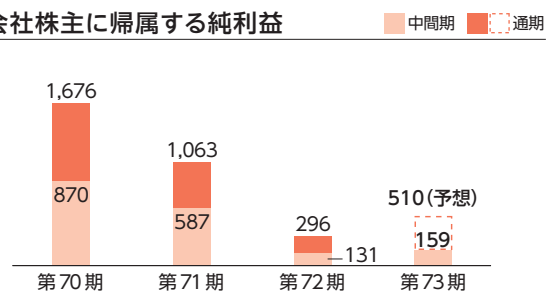
営業利益



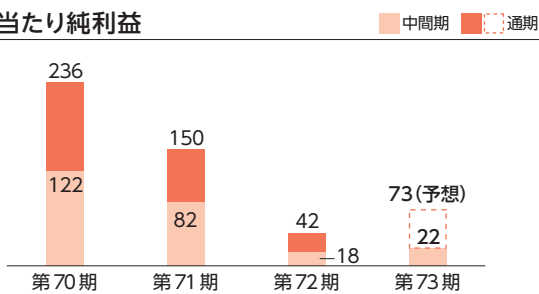
経常利益



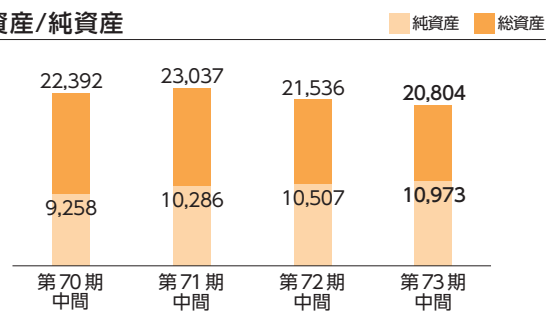
親会社株主に帰属する純利益



1株当たり純利益



総資産/純資産



● 株主優待寄付金

ご賛同くださった株主のみなさまにつきまして、今年10月に寄付をいたしました。また昨年11月に日本赤十字社から感謝状を受け、今年も受彰のお知らせを受けました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

寄付金総額 **382,500円**

(日本赤十字社、国土緑化推進機構に各191,250円)



全固体リチウムイオン電池の技術開発について

当社は、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の燃料電池・蓄電池分解における技術開発の実施先に採用され開発に取り組んでまいりましたが、当助成事業が無事終了し、技術面・事業面で一定の評価を得ました。

今後は事業化に向けて、関係団体・企業と連携し、さらなる研究開発や市場調査等に取り組んでまいります。

また経済産業省より「ゼロエミ・チャレンジ企業」として選定されました。



東証「スタンダード市場」の選択について

2022年4月4日に予定されている東京証券取引所の市場再編について、「スタンダード市場」を選択することを2021年10月29日開催の取締役会にて決議いたしました。

当社としましては、今後も引き続き、市場対応力のある企業として成長を続け企業価値・株主価値を高め透明性の高いガバナンスを実現し環境や社会へ貢献してまいります。

■ 会社の概要

商 号 **株式会社カワタ**
(KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本 社 〒550-0011
大阪市西区阿波座1-15-15
設 立 1951年7月13日
資 本 金 977,142,640円
従 業 員 数 253名 (連結816名)
(役員 出向社員 パート 嘱託は除く)

■ 事業所

● 国内

本 社 名古屋営業所
大阪市西区 名古屋サービス
大阪営業所 名古屋サービス
大阪サービス 名古屋サービス
大阪サービス 名古屋サービス
仙台営業所 名古屋サービス
仙台サービス 名古屋サービス
仙台サービス 名古屋サービス
北関東サービス 名古屋サービス
群馬県高崎市 名古屋サービス
埼玉営業所 名古屋サービス
東京サービス 名古屋サービス
東京サービス 名古屋サービス
東京営業所 名古屋サービス
東京都中央区 名古屋サービス
南関東営業所 名古屋サービス
南関東サービス 名古屋サービス
神奈川厚木市 名古屋サービス
静岡営業所 名古屋サービス
静岡サービス 名古屋サービス
静岡市駿河区 名古屋サービス
(株)サーモテック
大阪市西成区
エム・エル
エンジニアリング(株)
静岡県藤枝市
(株)レイケン
東京都中央区

● 海外

アメリカ カワタU.S.A. INC.
メキシコ カワタマシナリーメキシコS.A.DE C.V.
シンガポール カワタパシフィックPTE. LTD.
タイ カワタタイランドCO., LTD.
マレーシア カワタマーケティングSDN. BHD.
インドネシア PT. カワタインドネシア
PT. カワタマーケティングインドネシア
ベトナム カワタマシナリーベトナムCo., LTD.
中国 川田機械製造(上海)有限公司
冷研(上海)貿易有限公司
川田機械香港有限公司
台湾 川田国際股份有限公司

■ 役員

代表取締役社長 白石 互
取締役 白井 英徳
取締役 柴 孝幸
取締役 藤坂 祐宏
取締役常勤監査等委員 渡部 寛
取締役監査等委員 伊藤 芳伸
取締役監査等委員 飯塚 一雄

■ 株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 7,210,000株
単元株式数 100株
株主数 11,292名
(前期末比 2,373名増)

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数
カワタ共伸会	601,100株
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	440,100
(株)三菱UFJ銀行	351,000
カワタ従業員持株会	266,580
日本生命保険相互会社	110,700
高塚 雅博	110,000
明治安田生命保険相互会社	110,000
大阪中小企業投資育成(株)	110,000
日本システムコントロール(株)	109,200
日本マスタートラスト信託銀行(株) (役員報酬BIP信託口・76541口)	105,600

(注) 上記のほか、自己株式が128,249株あります。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町3-6-3
☎0120-094-777(通話料無料)
公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページ
(<https://www.kawata.cc/>) に掲載

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は、当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.kawata.cc/>

株式会社カワタ

検索



トップページ



会社情報

このたびは会社紹介動画を製作しました。ぜひご覧ください。